

# 長崎外国語大学学則

## 第1章 目的と使命

### (目的)

第1条 本学は、教育基本法に則り学校教育法の定める大学として、キリスト教精神に基づき、外国語と国際文化に関する知識を教授研究し、国際的な視野と円満な人格の涵養を図り、もって地域並びに人類社会の福祉と発展に寄与しうる人材を育成することを目的とする。

### (宗教教育)

第2条 本学において教授研究する学問及び教育の基礎として、キリスト教に関する授業科目を設け、また宗教的礼拝を行う。

### (自己評価)

第3条 本学は、教育水準の向上を図り、目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

2 前項の点検及び評価を行うにあたっての項目の設定、実施体制等については別に定める。

## 第2章 組織

### (学部・学科、収容定員)

第4条 本学が設置する学部、学科及びその収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	3年次 編入学定員	収容定員
外国語学部	現代英語学科	85名		340名
	国際コミュニケーション学科	85名	30名	400名
	計	170名	30名	740名

### (附置教育研究機関)

第5条 本学に、次の附置教育研究機関を置く。

- (1) 国際交流センター
- (2) 教育研究メディアセンター
- (3) 文化センター

2 附置教育研究機関に関し必要な事項は、別に定める。

**(職員)**

**第6条** 本学に学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、その他必要な職員を置く。

2 学部長その他の役職者は、前項の職員の中から選任する。

**(学長)**

**第7条** 学長は、学務を掌り、教授会を主宰し、所属職員を統督する。

**(その他職制)**

**第8条** 本学の職制に関しては、別にこれを定める。

**(教授会)**

**第9条** 本学に、次の重要事項を審議するため教授会を置く。

- (1) 教育研究の基本方針及び基本計画に関する事項
- (2) 教育課程の編成に関する事項
- (3) 点検及び評価に関する事項
- (4) 教員の人事に関する事項
- (5) 学生の身分(入学、休学、退学、卒業等)及び指導等に関する事項
- (6) 学則等の規則の制定及び変更に関する事項
- (7) 学長から諮問された事項

**(教授会の構成)**

**第10条** 教授会は、本学の学長及び専任の教授、准教授、講師をもって構成する。

**第11条** 教授会に関する規程は別に定める。

### **第3章 学年、学期及び休業日**

**(学年)**

**第12条** 本学の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

**(学期)**

**第13条** 学年を次の2学期に分ける。

- (1) 春学期(前期) 4月1日から 9月30日まで
- (2) 秋学期(後期) 10月1日から 翌年3月31日まで

**(休業日)**

**第14条** 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
- (3) 本学の創立記念日 12月1日
- (4) 春季休業日 3月10日から 3月31日まで
- (5) 夏季休業日 8月1日から 9月30日まで

- (6) 冬季休業日 12月23日から翌年1月7日まで
- 2 前項の規定にかかわらず必要がある場合には、学長は休業日を臨時に変更し又は臨時に休業日を定めることができる。

#### 第4章 修業年限及び在学年限

##### (修業年限)

第15条 本学の修業年限は4年とする。ただし、編入学、再入学又は転入学により入学した学生の修業年限は、入学した年次に対応した年限とする。

##### (在学年限)

第16条 学生は、休学期間を除き8年を超えて在学することはできない。ただし、編入学、再入学又は転入学により入学した学生の在学年限は、修業年限の2倍に相当する年数を限度とする。

#### 第5章 入学、編入学、再入学及び転入学

##### (入学の時期)

第17条 入学の時期は、学期の始めとする。

##### (入学資格)

第18条 本学に入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
- (7) その他本学において、相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

##### (入学の出願)

第19条 本学に入学を志願する者は、入学願書に入学検定料及び他の所定書類を添えて願い出るものとする。

##### (入学者の選考)

第20条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

##### (入学手続き及び入学許可)

第21条 前条の選考の結果に基づき、合格の通知を受けた者は、定められた期日までに

本学所定の書類を提出するとともに、第 48 条に定める入学金並びに授業料等の学費を納入しなければならない。

2 前項の入学手続きを完了した者に対し、学長が入学を許可する。

#### (編入学)

**第 22 条** 本学の 3 年次に編入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

- (1) 大学を卒業した者又は退学した者(大学に 2 年以上在学し、62 単位以上修得した者)
- (2) 短期大学、高等専門学校を卒業した者
- (3) 学校教育法施行規則(昭和 22 年文部省令第 11 号)附則第 7 条に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し又は卒業した者
- (4) その他本学において、相当の年齢に達し短期大学又は高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2 前項の規定により入学を許可された者の既に修得した授業科目及び単位数の取扱いについては、教授会の議を経て学長が決定する。

3 3 年次編入学を志願する者は、入学検定料を添えて所定の期日までに本学に提出しなければならない。

#### (再入学)

**第 23 条** 再入学は、本学を退学した者が再び入学を志望する場合に、選考の上これを許可する。

#### (転入学)

**第 24 条** 本学に転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することがある。

2 前項の規定により入学を許可された者の既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

## 第 6 章 教育課程及び履修方法等

### (授業科目)

**第 25 条** 授業科目は、教養科目、専門科目及び語学科目とする。

2 授業科目の種類及び単位数は、別表 1 のとおりとする。

### (教職課程)

**第 26 条** 本学に、教職課程を置く。

2 教育職員免許状を取得しようとする者は、教職に関する科目及び単位を修得しなければならない。

3 教職に関する科目は、別表 2 のとおりとする。

4 前の各項に定めるもののほか、教職課程に関し必要な事項は、別に定める。

### (単位の計算方法)

**第 27 条** 各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次のとおりとする。

- (1) 教養科目については 15 時間の授業をもって 1 単位とする。ただし、情報処理演習及びスポーツについては 30 時間の授業をもって 1 単位とする。
- (2) 専門科目については 15 時間の授業をもって 1 単位とする。ただし、プロジェクト及び卒業研究については、その成果を評価して所定の単位を与える。
- (3) 語学科目については 30 時間の授業をもって 1 単位とする。ただし、一部の科目については、授業内容の専門性及び授業時間外に必要な学習等を考慮し、15 時間の授業をもって 1 単位とすることがある。

2 前項の規定にかかわらず、海外・国内研修を含む授業科目については、別に定める基準によるものとする。

### (試験及び成績)

**第 28 条** 学業成績は、原則として試験によって評価し、評価結果は秀・優・良・可・不可をもって示し、秀・優・良・可を合格、不可を不合格とする。

ただし、その他特別の必要があるときは、認をもって合格とする。

### (履修及び単位修得)

**第 29 条** 授業科目の履修及び単位の修得に関し必要な事項は、別に定める。

### (他大学等における授業科目の履修)

**第 30 条** 教育上有益と認められるときは、他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60 単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を認定することができる。

2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

### (大学以外の教育施設等における学修)

**第 31 条** 教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第 1 項及び第 2 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

### (入学前の既修得単位等の認定)

**第 32 条** 教育上有益と認められるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 教育上有益と認められるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第 1 項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 3 前二項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第30条第1項及び第2項並びに前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
- 4 編入学者、転入学者等の既修得単位の認定については、別に定める。

**(学外講義等)**

**第33条** 本学は、第25条及び第26条に定める正規課程のための授業のほか、学外講義、公開講義及び講習会を随時開催する。

**第7章 卒業及び学位**

**(卒業単位)**

**第34条** 学生が本学を卒業するために必要とする修得単位数は、次のとおりとする。

科目分野		卒業に必要な単位	備 考
教養科目		32 単位 (「キリスト教学 ・ 」 「基礎演習 ・ 」 必修)	・日本人学生は「日本語表現法 ・ ・ ・ 」必修。ただし外国の大学等に留学した場合は「海外自由研究 ・ ・ ・」の単位をもって「日本語表現法」の単位に換えることができる。 ・留学生は、専門科目及び語学科目において卒業要件を超えて修得した単位をもって、教養科目の単位に換えることができる。
専門科目		36 単位	現代英語学科は4年次「特別演習 ・ ・ ・」必修。
語 学 科 目	現代英語 学科	英語 24 単位	
	国際コ ミュニ ケー ション学 科	専修外国語 24 単位	ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、日本語のいずれかを専修外国語として選ぶものとする。ただし、日本語は留学生を対象とする。
自由選択		32 単位	他学科の科目も含め、どの科目分野からも自由に選択することができる。
合 計		124 単位	

**(卒業認定)**

**第35条** 本学に4年以上在学し、前条に定める単位数を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業の認定を行う。

### (学位)

**第36条** 前条の規定により卒業した者には、本学学位規程の定めるところにより学士の学位を授与する。

## 第8章 転学科、留学、休学、復学、退学及び除籍

### (転学科)

**第37条** 学生が、所属する学科から他の学科への所属変更(以下「転学科」という。)を希望するときは、選考のうえ許可することがある。

2 転学科に関し必要な事項は別に定める。

### (留学)

**第37条の2** 学生は、外国の大学又は短期大学において修学しようとするときは、学長の許可を得て留学することができる。

2 留学期間は、2年以内を原則とする。

3 留学期間は、修業年限及び在学年限に算入する。

4 学生が留学により修得した単位については、第30条第2項に定める規定を準用する。

5 前の各項に定めるもののほか、留学に関し必要な事項は、別に定める。

### (休学)

**第38条** 学生は、疾病その他の特別な理由により2ヵ月以上継続して修学することができないときは、休学を願い出ることができる。

2 学長は、前項の願い出が正当と認められる場合は、休学を許可することができる。

3 休学期間は、1回の願い出について1年以内を原則とし、通算して4年を限度とする。

4 休学期間は、修業年限には算入しない。

### (復学)

**第39条** 学生は、休学の理由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができる。

### (退学)

**第40条** 学生は、引続いて在学することができないときは、学長の許可を得て退学することができる。

### (除籍)

**第41条** 学長は、次の各号のいずれかに該当する学生については除籍する。

- (1) 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (2) 第16条に定める在学年限を超える者
- (3) 第38条に定める休学期間を超えてなお復学できない者
- (4) 長期間にわたり行方不明の者

## 第9章 科目等履修生、研究生、特別科目等履修生及び外国人留学生

### (科目等履修生等)

**第 42 条** 本学の学生以外の者で、本学が開設する授業科目のうち一又は複数の授業科目について履修を希望する者があるときは、教育研究に支障がない場合に限り、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

( 研究生 )

**第 42 条の 2** 本学において特殊の事項について研究を希望する者があるときは、選考の上、研究生として入学を許可することがある。

2 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

( 特別科目等履修生 )

**第 42 条の 3** 他の大学又は短期大学( 外国の大学又は短期大学を含む。 )の学生で、本学の特定の授業科目を履修することを希望する者があるときは、当該他の大学又は短期大学との協議に基づき、特別科目等履修生として入学を許可することがある。

2 特別科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

( 外国人留学生 )

**第 42 条の 4** 外国人留学生として本学に入学を希望する者があるときは、選考の上、入学を許可することがある。

2 外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

( 規則の準用 )

**第 43 条** 第 4 2 条から第 4 2 条の 4 に定める学生は、正規課程の学生と同様に本学の規則を遵守しなければならない。

## 第 10 章 賞 罰

( 表彰 )

**第 44 条** 学生として表彰に値する行為があった者は、教授会の議を経て学長が表彰する。

( 懲戒 )

**第 45 条** 本学の規則に違反し又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、譴責、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する学生に対して行う。

(1) 性行不良で、改善の見込みがないと認められる者

(2) 学力劣等で、成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当な理由がなくて、出席常でない者

(4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

## 第 11 章 厚生施設

( 女子学生寮 )

**第 46 条** 本学に女子学生寮を置く。

2 女子学生寮に関する規則は、別に定める。

**(保健室及びカウンセリング室)**

**第 47 条** 本学に保健室及びカウンセリング室を置く。

2 保健室及びカウンセリング室に関する規程は、別に定める。

## **第 12 章 学 費**

**(入学検定料、入学金、授業料等の学費)**

**第 48 条** 本学の入学検定料、入学金並びに授業料等の学費は、別表 3 のとおりとする。

2 入学金並びに授業料等の学費の納入期限、納入方法等に関しては、別に定める。

**(納入した授業料等の学費)**

**第 49 条** 納入した検定料、入学金並びに授業料等の学費は返還しない。ただし、入学手続き時の納入金については、所定の期日までに所定の方法で入学を辞退した者に限り、入学金を除き既に納めてある授業料等の学費を返還することができる。

**(休学期間中の学費)**

**第 50 条** 1 学期を通じて休学する者は、当該学期の所定の期日までに別に定める在籍料を納入しなければならない。

**(退学、停学の場合の授業料等の学費)**

**第 51 条** 学期の途中で退学した者の当該期分の授業料等の学費は徴収する。

2 停学期間中の授業料等の学費は徴収する。

**(復学の場合の授業料等の学費)**

**第 52 条** 休学者が、学期の途中で復学する場合には、その学期の授業料等の学費の全額を納入しなければならない。

## **第 13 章 奨学制度**

**(奨学金)**

**第 53 条** 成績優秀にして品行方正な学生及び経済的に修学が困難な学生に対しては、選考のうえ奨学金を貸与又は給付する。

2 奨学金に関し必要な事項は、別に定める。

**(留学派遣)**

**第 54 条** 成績優秀にして品行方正な学生に対しては、選考のうえ外国に留学派遣する。

2 留学派遣に関し必要な事項は、別に定める。

## **附 則**

1 この学則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

- 2 第4条に定める学生の収容定員は、同条の規定にかかわらず、平成13年から15年度までの間は、次のとおりとする。

学 科	13年度	14年度	15年度
国際コミュニケーション学科	150名	300名	470名

**附 則**

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

**附 則**

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 第4条に定める学生の収容定員は、同条の規定にかかわらず、平成16年から18年度までの間は、次のとおりとする。

学 科	16年度	17年度	18年度
国際コミュニケーション学科	670名	700名	730名

**附 則**

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 この附則は、平成17年度の入学者から適用し、平成16年度以前の入学者には、なお、従前の学則による。

**附 則**

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

**附 則**

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

ただし、第25条（別表1を

含む。）第26条（別表2）第27条、第34条の改正規定は、

平成19年度の入学者及びその学年進行に相当する年次への編入学者から適用し、平成18年度以前の入学者には、なお、従前の学則による。

**附 則**

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 第28条の改正規定は、平成20年度の入学者及びその学年進行に相当する年次への編入学者から適用し、平成19年度以前の入学者には、なお、従前の学則による。

**附 則**

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 第4条に定める学生の収容定員は、同条の規定にかかわらず、平成21年から23年度までの間は、次のとおりとする。

学 科	21年度	22年度	23年度
現代英語学科	85名	170名	255名
国際コミュニケーション学科	675名	590名	495名
計	760名	760名	750名

3 改正後の第 25 条（別表 1 を含む。）第 26 条（別表 2）第 27 条、第 34 条、第 37 条及び第 48 条（別表 3）の規定は、平成 21 年度の入学者及びその学年進行に相当する年次への編入学者から適用し、平成 20 年度以前の入学者には、なお、従前の学則による。

## 別表 1

外国語学部現代英語学科及び国際コミュニケーション学科の学生は、所定の教育課程に従い、次の方法で卒業に必要な単位を修得しなければならない。

1. 教養科目は、以下にあげる必修科目の単位を含め、32 単位を修得すること。
  - (1) 「キリスト教学」(2 単位)、「キリスト教学」(2 単位)、「基礎演習」(2 単位)、「基礎演習」(2 単位) は必修とする。
  - (2) 日本人学生は、「日本語表現法」(2 単位)、「日本語表現法」(2 単位)、「日本語表現法」(2 単位)、「日本語表現法」(2 単位) を必修とする。ただし、外国の大学等に留学した場合は「海外自由研究」(2 単位)、「海外自由研究」(2 単位) の単位をもって「日本語表現法」の単位に換えることができるものとする。
  - (3) 留学生は、専門科目及び語学科目において卒業要件を超えて修得した単位をもって、教養科目の単位を補うことができるものとする。
  
2. 専門科目は、所属する学科の専門科目から 36 単位を修得すること。

ただし、現代英語学科は 4 年次「特別演習」(2 単位)、「特別演習」(2 単位) を必修とする。
  
3. 語学科目は、現代英語学科は英語科目から 24 単位、国際コミュニケーション学科は専修外国語から 24 単位を修得すること。

国際コミュニケーション学科の学生は、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、日本語のいずれかを専修外国語として選ぶものとする。ただし、日本語は留学生を対象とする。
  
4. 自由選択として 32 単位を修得すること。学生は、他学科の科目も含め、教養科目、専門科目、語学科目のいずれからも、自由に授業科目を選択し単位を修得することができるものとする。

外国語学部現代英語学科及び国際コミュニケーション学科における教育課程は次に示すとおりである。

**[ 教養科目 ]**

現代英語学科及び国際コミュニケーション学科共通

科 目 名	配当年次	単位数	
		必修	選択
キリスト教学	1	2	
キリスト教学	1	2	
グローバルゼーションと多文化共生	1		2
グローバルゼーションと多文化共生	1		2
情報処理演習	1		1
情報処理演習	1		1
スポーツ	1		1
スポーツ	1		1
哲学	1・2・3・4		2
哲学	1・2・3・4		2
歴史学	1・2・3・4		2
歴史学	1・2・3・4		2
文学	1・2・3・4		2
文学	1・2・3・4		2
美術史	1・2・3・4		2
美術史	1・2・3・4		2
法学（日本国憲法）	1・2・3・4		2
法学	1・2・3・4		2
政治学	1・2・3・4		2
政治学	1・2・3・4		2
経済学	1・2・3・4		2
経済学	1・2・3・4		2
社会学	1・2・3・4		2
社会学	1・2・3・4		2
社会福祉論	1・2・3・4		2
社会福祉論	1・2・3・4		2
心理学	1・2・3・4		2
心理学	1・2・3・4		2
生命科学	1・2・3・4		2
生命科学	1・2・3・4		2
地球環境論	1・2・3・4		2
地球環境論	1・2・3・4		2
自然科学史	1・2・3・4		2
自然科学史	1・2・3・4		2
<b>【日本語リテラシー科目】(注1)</b>			
基礎演習	1	2	
基礎演習	1	2	
日本語表現法	2	2	
日本語表現法	2	2	
日本語表現法	3	2	

科 目 名	配当年次	単位数	
		必修	選択
日本語表現法	3	2	
海外自由研究	2・3・4		2
海外自由研究	2・3・4		2
<b>【留学生科目】</b>			
日本語コミュニケーション技術	1・2・3		2
日本語コミュニケーション技術	1・2・3		2
教養日本文化	1・2・3		2
教養日本文化	1・2・3		2
教養日本文学	1・2・3		2
教養日本文学	1・2・3		2
教養日本社会	1・2・3		2
教養日本社会	1・2・3		2
日本伝統文化実習	1・2・3		2
日本伝統文化実習	1・2・3		2
<b>【キャリア支援科目】</b>			
キャリアプランニング	1		2
キャリアプランニング	2		2
キャリアプランニング	3		2
インターンシップ	3・4		2
<b>【単位互換科目】(注2)</b>			
(「NICE キャンパス長崎」科目及び特別講座)	1・2・3・4		10まで

(注1)「日本語表現法 . . . 」は、日本人学生は必修、留学生は選択とする。外国の大学等に留学した場合は「海外自由研究」の単位をもって「日本語表現法」の単位に換えることができる。

(注2) 単位互換科目の履修及び単位認定条件等については別に定める。

## 専門科目

### 1. 現代英語学科

科 目 名	配当年次	単位数	
		必修	選択
<b>【異文化国際理解プログラム】</b>			
文化人類学	2・3・4		2
文化人類学	2・3・4		2
異文化間コミュニケーション	2・3・4		2
異文化間コミュニケーション	2・3・4		2
言語学	2・3・4		2
言語学	2・3・4		2
国際関係論	2・3・4		2
国際関係論	2・3・4		2
比較文化論	2・3・4		2

科 目 名	配当年次	単位数	
		必修	選択
比較文化論	2・3・4		2
長崎文化論	2・3・4		2
長崎文化論	2・3・4		2
言語とグローバリゼーション	2・3・4		2
表象文化論	2・3・4		2
比較宗教学	2・3・4		2
比較宗教学	2・3・4		2
文化政策論	2・3・4		2
国際協力論	2・3・4		2
英語圏地域研究	2・3・4		2
英語圏地域研究	2・3・4		2
異文化国際理解演習	2・3・4		2
異文化国際理解演習	2・3・4		2
英語圏海外セミナー	2・3・4		4
英語圏海外セミナー	2・3・4		4
<b>【国際ビジネスプログラム】</b>			
会計学	2		2
会計学	2		2
経営学	2		2
経営学	2		2
金融論	2		2
ビジネス英語	2		2
ビジネス英語	2		2
ビジネス英語	3・4		2
ビジネス英語	3・4		2
英語ビジネス情報	3・4		2
英語ビジネス情報	3・4		2
国際経済論	3・4		2
国際金融論	3・4		2
国際企業論	3・4		2
<b>【観光ホスピタリティプログラム】</b>			
観光学概論	2		2
観光学概論	2		2
観光英語	2		2
観光英語	2		2
エアラインホテルサービス論	2		2
ビジネス実務総論	2		2
ビジネス実務総論	2		2
旅行業務	2		2
旅行業務	2		2
旅行業務	3・4		2
旅行業務	3・4		2

科 目 名	配当年次	単位数	
		必修	選択
観光通訳ガイド演習	3・4		2
観光通訳ガイド演習	3・4		2
エアラインホテル英語	3・4		2
エアラインホテル英語	3・4		2
デジタル資料作成技術	3・4		2
デジタル資料作成技術	3・4		2
<b>【通訳・翻訳プログラム】</b>			
通訳の理論と技法	2		2
翻訳の理論と技法	2		2
逐次通訳演習	2		2
逐次通訳演習	2		2
翻訳演習	2		2
翻訳演習	2		2
翻訳演習	3・4		2
翻訳演習	3・4		2
翻訳実習	3・4		2
翻訳実習	3・4		2
同時通訳演習	3・4		2
同時通訳演習	3・4		2
同時通訳演習	3・4		2
同時通訳演習	3・4		2
同時通訳実習	3・4		2
同時通訳実習	3・4		2
<b>【英語専門職プログラム】</b>			
英米文学入門	2		2
英米文学入門	2		2
英米文化研究入門	2		2
英米文化研究入門	2		2
英語学入門	2		2
英語学入門	2		2
英語音声学	2		2
児童心理学	2		2
第二言語習得論	2		2
英米文学研究演習	3・4		2
英米文学研究演習	3・4		2
英米文化研究演習	3・4		2
英米文化研究演習	3・4		2
英語学研究演習	3・4		2
英語学研究演習	3・4		2
児童文学絵本研究	3・4		2
早期英語教授法	3・4		2
早期英語教授法	3・4		2

科 目 名	配当年次	単位数	
		必修	選択
幼児児童英語教育実習	3・4		2
<b>【留学科目】</b> (注1)			
社会文化特別研究	2・3・4		6まで
社会文化特別研究	2・3・4		6まで
<b>【プロジェクト】</b> (注2)			
現代英語グローバルプロジェクト	3・4		8まで
現代英語グローバルプロジェクト	3・4		8まで
<b>【特別演習】</b>			
特別演習	4	2	
特別演習	4	2	
<b>【卒業研究】</b>			
卒業研究	3		4
卒業研究	4		8

(注1) 留学中に修得した単位を認定する。留学科目及びその単位の認定方法については別に定める。

(注2) プロジェクト及びその単位の認定方法については別に定める。

## 2. 国際コミュニケーション学科

科 目 名	配当年次	単位数	
		必修	選択
<b>【比較社会文化研究プログラム】</b>			
言語学	2・3・4		2
言語学	2・3・4		2
異文化間コミュニケーション	2・3・4		2
異文化間コミュニケーション	2・3・4		2
文化人類学	2・3・4		2
文化人類学	2・3・4		2
比較文化論	2・3・4		2
比較文化論	2・3・4		2
比較宗教学	2・3・4		2
比較宗教学	2・3・4		2
比較憲法論	2・3・4		2
比較憲法論	2・3・4		2
比較文学	2・3・4		2
比較文学	2・3・4		2
歴史地理学	2・3・4		2
歴史地理学	2・3・4		2
メディア論	2・3・4		2
メディア論	2・3・4		2
長崎文化論	2・3・4		2

科 目 名	配当年次	単位数	
		必修	選択
長崎文化論	2・3・4		2
国際関係論	2・3・4		2
国際関係論	2・3・4		2
国際人権法	2・3・4		2
国際人権法	2・3・4		2
海外文化研修	2・3・4		2
比較社会文化演習	3・4		2
比較社会文化演習	3・4		2
<b>【ヨーロッパ研究プログラム】</b>			
ギリシャ語の世界	2・3・4		2
ギリシャ語の世界	2・3・4		2
ラテン語の世界	2・3・4		2
ラテン語の世界	2・3・4		2
ヨーロッパの歴史	2・3・4		2
ヨーロッパの歴史	2・3・4		2
ヨーロッパ文化史	2・3・4		2
ヨーロッパ文化史	2・3・4		2
現代ヨーロッパの政治と経済	2・3・4		2
現代ヨーロッパの政治と経済	2・3・4		2
現代ヨーロッパ社会論	2・3・4		2
日欧関係論	2・3・4		2
ドイツ語ドイツ文化海外セミナー	2・3・4		4
フランス語フランス文化海外セミナー	2・3・4		4
ドイツ語学演習	3・4		2
ドイツ語学演習	3・4		2
ドイツ文化演習	3・4		2
ドイツ文化演習	3・4		2
ドイツ文学演習	3・4		2
ドイツ文学演習	3・4		2
フランス語学演習	3・4		2
フランス語学演習	3・4		2
フランス文化演習	3・4		2
フランス文化演習	3・4		2
フランス文学演習	3・4		2
フランス文学演習	3・4		2
<b>【アジア研究プログラム】</b>			
東南アジア文化研究	2・3・4		2
東南アジア文化研究	2・3・4		2
東アジアの歴史	2・3・4		2
東アジアの歴史	2・3・4		2
中国の政治と経済	2・3・4		2

科 目 名	配当年次	単位数	
		必修	選択
中国の政治と経済	2・3・4		2
東アジアの政治と経済	2・3・4		2
東アジアの政治と経済	2・3・4		2
現代東アジア社会論	2・3・4		2
現代東アジア社会論	2・3・4		2
東アジア関係論	2・3・4		2
東アジア関係論	2・3・4		2
中国語学概論	3・4		2
中国語学概論	3・4		2
中国語学演習	3・4		2
中国語学演習	3・4		2
中国文化演習	3・4		2
中国文化演習	3・4		2
中国の思想と文学	3・4		2
中国の思想と文学	3・4		2
韓国語学演習	3・4		2
韓国語学演習	3・4		2
韓国文化演習	3・4		2
韓国文化演習	3・4		2
韓国の思想と文学	3・4		2
韓国の思想と文学	3・4		2
<b>【日本研究プログラム】</b>			
日本史	2		2
日本史	2		2
日本民俗学	2		2
日本民俗学	2		2
メディア文化論	2		2
日本文化研究入門	2		2
日本文化研究入門	2		2
日本社会研究入門	2		2
日本社会研究入門	2		2
日本文学研究入門	2		2
日本文学研究入門	2		2
自由研究	2		2
日本経営論	3・4		2
日本経営論	3・4		2
日本の政治と経済	3・4		2
日本の政治と経済	3・4		2
日本語学概論	3・4		2
日本語学概論	3・4		2
日本語学特別演習	3・4		2

科 目 名	配当年次	単位数	
		必修	選択
日本語学特別演習	3・4		2
日本文化研究特論	3・4		2
日本文化研究特論	3・4		2
日本社会研究特論	3・4		2
日本社会研究特論	3・4		2
日本文学研究特論	3・4		2
日本文学研究特論	3・4		2
日本語日本文化特論	3・4		2
日本語日本文化特論	3・4		2
日本文化フィールドワーク	3・4		2
<b>【留学科目】(注1)</b>			
社会文化特別研究	2・3・4		6まで
社会文化特別研究	2・3・4		6まで
<b>【プロジェクト】(注2)</b>			
多文化共生プロジェクト	3・4		8まで
多文化共生プロジェクト	3・4		8まで
<b>【卒業研究】</b>			
卒業研究	3		4
卒業研究	4		8

(注1) 留学中に修得した単位を認定する。留学科目及びその単位の認定方法については別に定める。

(注2) プロジェクト及びその単位の認定方法については別に定める。

## 語学科目

現代英語学科は英語を専修外国語とする。

国際コミュニケーション学科は、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、日本語のいずれかを専修外国語として選ぶものとする。

### 1. 英語科目

履修方法は「英語科目の履修に関する取り扱い」によるものとする。

科 目 名	配当年次	単位数	
		必修	選択
<b>【CORE 科目】</b>			
Grammar & Vocabulary	1・2・3		1
Grammar & Vocabulary	1・2・3		1
Grammar & Vocabulary	1・2・3		1
Grammar & Vocabulary	1・2・3		1
Listening	1・2・3		1

科目名	配当年次	単位数	
		必修	選択
Listening	1・2・3		1
Listening	1・2・3		1
Listening	1・2・3		1
Listening	1・2・3		1
Listening	1・2・3		1
Reading	1・2・3		1
Reading	1・2・3		1
Reading	1・2・3		1
Reading	1・2・3		1
Reading	1・2・3		1
Reading	1・2・3		1
Conversation	1・2・3		1
Conversation	1・2・3		1
Conversation	1・2・3		1
Conversation	1・2・3		1
Conversation	1・2・3		1
Conversation	1・2・3		1
Conversation	1・2・3		1
Composition	1・2・3		1
Composition	1・2・3		1
Composition	1・2・3		1
Composition	1・2・3		1
Composition	1・2・3		1
Composition	1・2・3		1
Basic English Seminar	1・2・3		1
Basic English Seminar	1・2・3		1
Basic English Seminar	1・2・3		1
Basic English Seminar	1・2・3		1
EPT Seminar	1・2・3		1
EPT Seminar	1・2・3		1
EPT Seminar	1・2・3		1
EPT Seminar	1・2・3		1
<b>【ACE ( Advanced Communicative English ) 科目】</b>			
Critical Reading	2・3		2
Critical Reading	2・3		2
Theme Writing	2・3		2
Theme Writing	2・3		2
Debate	2・3		2
Debate	2・3		2
Public Speaking & Presentation	2・3		2
Public Speaking & Presentation	2・3		2
Current Topics in the World	2・3		2

科 目 名	配当年次	単位数	
		必修	選択
Current Topics in the World	2・3		2
English in Music & Film	2・3		2
English in Music & Film	2・3		2
Critical Reading	3・4		2
Critical Reading	3・4		2
Debate	3・4		2
Debate	3・4		2
Writing & Presentation	3・4		2
Writing & Presentation	3・4		2
Dramatic Acting	3・4		2
Dramatic Acting	3・4		2
<b>【留学科目】(注1)</b>			
英語特別実習	2・3・4		10まで
英語特別実習	2・3・4		10まで
<b>【英語能力試験科目】(注2)</b>			
EPT Credits	1・2・3・4		8まで
EPT Credits	1・2・3・4		
EPT Credits	1・2・3・4		
EPT Credits	1・2・3・4		

(注1) 留学中に修得した単位を認定する。留学科目及びその単位の認定方法については別に定める。

(注2) 英語能力試験による単位認定。単位認定の基準及び方法については別に定める。

## 2. ドイツ語科目

科 目 名	配当年次	単位数	
		必修	選択
ドイツ語講読	1		1
ドイツ語講読	1		1
ドイツ語文法	1		1
ドイツ語文法	1		1
ドイツ語会話 A	1		1
ドイツ語会話 B	1		1
ドイツ語会話 A	1		1
ドイツ語会話 B	1		1
ドイツ語演習	1		1
ドイツ語演習	1		1
ドイツ語講読	2		1
ドイツ語講読	2		1
ドイツ語文法	2		1

科 目 名	配当年次	単位数	
		必修	選択
ドイツ語文法	2		1
ドイツ語会話	2		1
ドイツ語会話	2		1
ドイツ語作文	2		1
ドイツ語作文	2		1
ドイツ語作文	3		1
ドイツ語作文	3		1
ドイツ語会話上級	3		1
ドイツ語会話上級	3		1
ドイツ語表現法	4		1
ドイツ語表現法	4		1
時事ドイツ語	3・4		1
時事ドイツ語	3・4		1
ビジネスドイツ語	3・4		1
ビジネスドイツ語	3・4		1
独日翻訳演習	3・4		1
独日翻訳演習	3・4		1
ドイツ語文献講読	3・4		1
ドイツ語文献講読	3・4		1
<b>【任意科目】(注1)</b>			
ドイツ語演習	2・3・4		1
ドイツ語演習	2・3・4		1
ドイツ語演習	2・3・4		1
ドイツ語演習	2・3・4		1
<b>【留学科目】(注2)</b>			
ドイツ語特別実習	2・3・4		10まで
ドイツ語特別実習	2・3・4		10まで

(注1) 必要に応じて開講する。任意科目の履修及びその単位認定方法については別に定める。

(注2) 留学中に修得した単位を認定する。留学科目及びその単位の認定方法については別に定める。

### 3. フランス語科目

科 目 名	配当年次	単位数	
		必修	選択
フランス語講読	1		1
フランス語講読	1		1
フランス語文法	1		1
フランス語文法	1		1
フランス語会話 A	1		1

科 目 名	配当年次	単位数	
		必修	選択
フランス語会話 B	1		1
フランス語会話 A	1		1
フランス語会話 B	1		1
フランス語演習	1		1
フランス語演習	1		1
フランス語講読	2		1
フランス語講読	2		1
フランス語文法	2		1
フランス語文法	2		1
フランス語会話	2		1
フランス語会話	2		1
フランス語作文	2		1
フランス語作文	2		1
フランス語作文	3		1
フランス語作文	3		1
フランス語会話上級	3		1
フランス語会話上級	3		1
フランス語表現法	4		1
フランス語表現法	4		1
時事フランス語	3・4		1
時事フランス語	3・4		1
ビジネスフランス語	3・4		1
ビジネスフランス語	3・4		1
仏日翻訳演習	3・4		1
仏日翻訳演習	3・4		1
フランス語文献講読	3・4		1
フランス語文献講読	3・4		1
<b>【任意科目】(注1)</b>			
フランス語演習	2・3・4		1
フランス語演習	2・3・4		1
フランス語演習	2・3・4		1
フランス語演習	2・3・4		1
<b>【留学科目】(注2)</b>			
フランス語特別実習	2・3・4		10まで
フランス語特別実習	2・3・4		10まで

(注1) 必要に応じて開講する。任意科目の履修及びその単位認定方法については別に定める。

(注2) 留学中に修得した単位を認定する。留学科目及びその単位の認定方法については別に定める。

#### 4 . 中国語科目

科 目 名	配当年次	単位数	
		必修	選択
中国語講読	1		1
中国語講読	1		1
中国語文法	1		1
中国語文法	1		1
中国語会話 A	1		1
中国語会話 B	1		1
中国語会話 A	1		1
中国語会話 B	1		1
中国語演習	1		1
中国語演習	1		1
中国語講読	2		1
中国語講読	2		1
中国語文法	2		1
中国語文法	2		1
中国語会話	2		1
中国語会話	2		1
中国語作文	2		1
中国語作文	2		1
中国語作文	3		1
中国語作文	3		1
中国語会話上級	3		1
中国語会話上級	3		1
中国語表現法	4		1
中国語表現法	4		1
時事中国語	3・4		1
時事中国語	3・4		1
ビジネス中国語	3・4		1
ビジネス中国語	3・4		1
中日翻訳演習	3・4		1
中日翻訳演習	3・4		1
中国語文献講読	3・4		1
中国語文献講読	3・4		1
<b>【任意科目】(注1)</b>			
中国語演習	2・3・4		1
中国語演習	2・3・4		1
中国語演習	2・3・4		1
中国語演習	2・3・4		1
<b>【留学科目】(注2)</b>			
中国語特別実習	2・3・4		10まで
中国語特別実習	2・3・4		10まで

(注1) 必要に応じて開講する。任意科目の履修及びその単位認定方法については別に定める。

(注2) 留学中に修得した単位を認定する。留学科目及びその単位の認定方法については別に定める。

## 5. 韓国語科目

科 目 名	配当年次	単位数	
		必修	選択
韓国語講読	1		1
韓国語講読	1		1
韓国語文法	1		1
韓国語文法	1		1
韓国語会話 A	1		1
韓国語会話 B	1		1
韓国語会話 A	1		1
韓国語会話 B	1		1
韓国語演習	1		1
韓国語演習	1		1
韓国語講読	2		1
韓国語講読	2		1
韓国語文法	2		1
韓国語文法	2		1
韓国語会話	2		1
韓国語会話	2		1
韓国語作文	2		1
韓国語作文	2		1
韓国語作文	3		1
韓国語作文	3		1
韓国語会話上級	3		1
韓国語会話上級	3		1
韓国語表現法	4		1
韓国語表現法	4		1
時事韓国語	3・4		1
時事韓国語	3・4		1
ビジネス韓国語	3・4		1
ビジネス韓国語	3・4		1
韓日翻訳演習	3・4		1
韓日翻訳演習	3・4		1
韓国語文献講読	3・4		1
韓国語文献講読	3・4		1
<b>【任意科目】(注1)</b>			
韓国語演習	2・3・4		1
韓国語演習	2・3・4		1
韓国語演習	2・3・4		1
韓国語演習	2・3・4		1

科 目 名	配当年次	単位数	
		必修	選択
【留学科目】(注2)			
韓国語特別実習	2・3・4		10まで
韓国語特別実習	2・3・4		10まで

(注1) 必要に応じて開講する。任意科目の履修及びその単位認定方法については別に定める。

(注2) 留学中に修得した単位を認定する。留学科目及びその単位の認定方法については別に定める。

## 6 . 日本語科目

科 目 名	配当年次	単位数	
		必修	選択
日本語口頭表現	1		1
日本語口頭表現	1		1
日本語文章表現	1		1
日本語文章表現	1		1
日本語読解	1		1
日本語読解	1		1
日本語聴解	1		1
日本語聴解	1		1
日本語口頭表現	2		1
日本語口頭表現	2		1
日本語文章表現	2		1
日本語文章表現	2		1
日本語読解	2		1
日本語読解	2		1
日本語聴解	2		1
日本語聴解	2		1
上級総合日本語	3		1
上級総合日本語	3		1
日本語上級文章表現	3		1
日本語上級文章表現	3		1
日本語上級読解	3		1
日本語上級読解	3		1
情報日本語	3		1
情報日本語	3		1
上級総合日本語	4		1
上級総合日本語	4		1
日本語上級文章表現	4		1
日本語上級文章表現	4		1
情報日本語	4		1

科 目 名	配当年次	単位数	
		必修	選択
情報日本語	4		1
日中翻訳演習	4		1
日中翻訳演習	4		1
日韓翻訳演習	4		1
日韓翻訳演習	4		1
<b>【任意科目】(注1)</b>			
日本語演習	1・2・3・4		1
日本語演習	1・2・3・4		1
日本語演習	1・2・3・4		1
日本語演習	1・2・3・4		1
日本語演習	1・2・3・4		1
日本語演習	1・2・3・4		1
日本語演習	1・2・3・4		1
日本語演習	1・2・3・4		1
日本語演習	1・2・3・4		1
初中級総合日本語	1・2・3・4		1
初中級総合日本語	1・2・3・4		1
初中級総合日本語	1・2・3・4		1
初中級総合日本語	1・2・3・4		1
初中級総合日本語	1・2・3・4		1
初中級総合日本語	1・2・3・4		1
初中級総合日本語	1・2・3・4		1
初中級総合日本語	1・2・3・4		1
資格日本語	1・2・3・4		1
資格日本語	1・2・3・4		1
<b>【日本語能力試験科目】(注2)</b>			
日本語能力試験1級	1・2・3・4		8

(注1) 必要に応じて開講する。任意科目の履修及びその単位認定方法については別に定める。

(注2) 日本語能力試験による単位認定。単位認定の基準及び方法については別に定める。

## 7. その他の外国語(注)

科 目 名	配当年次	単位数	
		必修	選択
(英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・日本語以外の言語)			10まで

(注) 他の大学等で修得した単位を認定する。認定方法については別に定める。

## 別表 2

### 1 中学校教諭一種免許状（英語）

授 業 科 目	単 位 数
教職概論	2
教育原理	2
教育心理学	2
教育制度	2
英語科教育法	2
英語科教育法	2
英語科教育法	2
英語科教育法	2
道德教育論	2
特別活動論	2
教育方法学	2
生徒・進路指導論	2
スクール・カウンセリング論	2
教職総合演習	2
教育実習指導（中学英語）	1
教育実習（中学英語）	4

2 高等学校教諭一種免許状（英語）

授 業 科 目	単 位 数
教師概論	2
教育原理	2
教育心理学	2
教育制度	2
英語科教育法	2
英語科教育法	2
特別活動論	2
教育方法学	2
生徒・進路指導論	2
スクール・カウンセリング論	2
教職総合演習	2
教育実習指導（高校英語）	1
教育実習（高校英語）	2
教育実習（高校英語）	1

3 高等学校教諭一種免許状（中国語）

授 業 科 目	単 位 数
教師概論	2
教育原理	2
教育心理学	2
教育制度	2
中国語科教育法	2
中国語科教育法	2
特別活動論	2
教育方法学	2
生徒・進路指導論	2
スクール・カウンセリング論	2
教職総合演習	2
教育実習指導（高校中国語）	1
教育実習（高校中国語）	2

### 別表3

入学検定料、入学金並びに授業料等の学費

(1) 入学検定料及び入学金の金額 (単位 : 円)

費 目	学 年	金 額	備 考
入 学 検 定 料	1 年 次	3 0,0 0 0	入学出願時に納入
入 学 金	1 年 次	2 5 0,0 0 0	入学手続き時に納入

3年次編入学の場合も上記のとおり。

(2) 授業料等の金額 (単位 : 円)

費 目	学 年	金 額	備 考
授 業 料	1 年 次	5 9 0,0 0 0	年 額
	2 年 次	5 9 0,0 0 0	年 額
	3 年 次	6 1 0,0 0 0	年 額
	4 年 次	6 1 0,0 0 0	年 額
施 設 設 備 費	1 年 次	3 7 7,0 0 0	年 額
	2 年 次	3 7 7,0 0 0	年 額
	3 年 次	3 8 7,0 0 0	年 額
	4 年 次	3 8 7,0 0 0	年 額